

国際協力研修「上水道施設技術総合（A）」 (Comprehensive Engineering on Water Supply Systems (A)) (実施期間：2016年7月12日、15日)

1. 本研修の概要

多くの開発途上国における水と衛生の役割は一層重要性を増している。本研修では、これまでの日本の上水道施設技術に関する知見を生かし、上水道施設の運営や技術に関する総合的な能力の向上を図る研修を実施している。本研修は、日本水道協会が受託し、2016年6月1日～8月13日に、国内の関連機関、水道事業体等と連携して研修を実施している。

2. 対象国

インドネシア（1）、ミャンマー（1）、イラク（2）、エチオピア（2）、カンボジア（1）、ギニア（2）、ザンビア（2）、スーダン（1）、マラウイ（2）、ルワンダ（1）の計15名。

各国の水道事業体、国政府、地方政府において水道建設計画の策定を担当する職員、水道に関する職歴が5年以上の技術者等が参加した。

3. 実施方法

当院では、長年研修の実施に協力しており、7月12日に「調査研究システム」に関する講義、実験施設見学、「ジャーテスト」の実習、7月15日に「水安全計画」に関する講義及び実習を実施した。

12日午前は科学院の概要、水と公衆衛生の関連性、歴史について講義を行い、浄水処理実験プラント、実験室等の見学を行った。（浅見、下ヶ橋、島崎が担当）。12日午後は、実習室で凝集（ジャーテスト）実習を行った（大野、島崎、小坂、笠倉らが担当）。条件による沈殿性の違いなどについての考察も行われた。

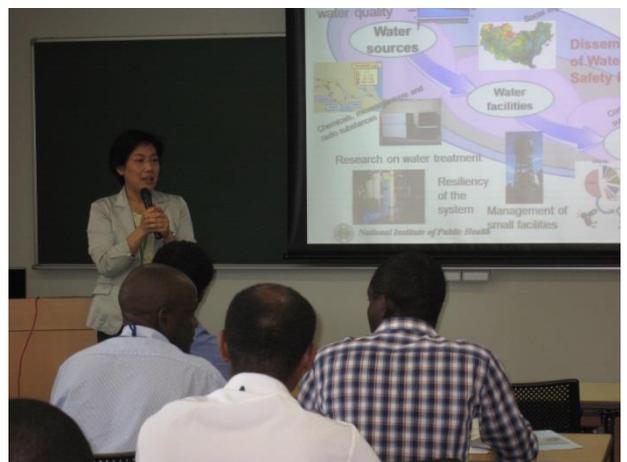
15日には当院からの3名（浅見、大野、小坂）が、水安全計画全体、事例紹介、評価方法について講義を行い、その後3グループに分かれ実習及び発表を行った。

研修員の方々も主体的に実験や演習に取り組み、水道システムに関する理解が深まった。発表や意見交換も活発に行われ、非常に有意義な研修となった。

浄水プラント・給水装置試験室見学
浄水プラント・給水装置試験室見学



ジャーテスト



4-2 講義室 講義風景





ジャーテスト実習
全体写真

【於：本院 本館4-
2講義室および別館棟】

水安全計画演習

【於：日本水道協会会議室】

